

浅間神社 千百五十年祭

(皆様のご参加をお待ちしています)

貞観六年(864)の富士山の大噴火を鎮めるため、翌年創建(貞観七年十二月九日)された河口浅間神社は本年、創建1150年という慶賀の年を迎えています。

これを記念して本殿の改修・清掃、一部屋根の架け直し等、様々な記念事業を行っており来る12月5日、千百五十年大祭を執り行うこととなりました。当日は神社古来より伝わる稚児の舞を始め様々な奉納が予定されています。また上中下町区の三町の神輿を集めた子供みこしの渡御を行います。翌6日には講師の方をお招きして記念講演を開催します。

富士山世界文化遺産の構成資産になっている当神社の記念の年を地元河口地区の皆さまを始め、多くの方々にご参加頂きともにお祝いして頂ければありがたく思いお知らせ致します。

12月5日

記念式典 10時～

奉納演目

稚児の舞

湧気行

少年剣道

一弦琴

子供神輿(みこし) 14時30分頃 出御

※当日は昼食(軽食)の準備を致しております。浅間神社賛助会の皆さまによる古代米でついたお餅の振る舞いもございます。お誘いあわせの上、奮ってご参加ください。

12月6日

記念講演 (河口住民センター) 10時～

講師 県立博物館学芸員 堀内真 先生

河口小学校長 武藤郁夫 先生

河口浅間神社